

基礎交付金事業実績書

団体名：津山地域振興会

1 総事業費 1,817,300 円

2 事業内容

(1) 事業名 情報発信事業（津山宝発掘委員会）

事業費	146,300 円
事業内容	◆ 毎月12ヶ月分のつやまだより発行（社会福祉協議会津山支所と共同発行）、地域の情報を広報誌として全戸配布。全戸配布と社会福祉協議会津山支所分を約1,100部印刷・配布 ◆ 登米市教育情報サイトにて公民館の利用等に関する情報発信を「津山公民館ホームページ」として掲載、SNS（FB、Instagram）やYouTubeチャンネルにて津山地域情報（観光など）日々の気づき等インターネット発信。 津山宝ホームページを作成し地域情報をインターネットで発信した。 ◆ 「津山宝」発掘写真展&津山の芸術家展」の開催（運営人数6名） 令和7年8月13日（水）～15日（金）10時00分～15時00分 「道の駅津山 もくもくランド 物産センター」にて 写真展の写真は以前使用したものを展示 掲示しきれない写真ファイルの陳列 津山町の芸術家5名の作品展示 津山町横山出身（熱海市在住）、佐々木泰明氏の作品を特別展示 DVD上映による出展者5人の自己紹介と作品紹介・津山町の歴史変遷紹介 来場者には直接芸術家たちによる展示作品の説明
事業成果	・初日から最終日まで人出は切れず、一日150人以上の来場者があった。天候にも恵まれ連日150人超の人出があり、3日間の開催で延べ500人以上の来場があった。特別展示作品には目を奪われる迫力がありました。 - 津山町在住の芸術家をアピールするには良い機会、市外からの来場者も多数。去年よりも少しずつ来館者が増えていると感じた。 - 少しずつ内容をパワーアップさせながら、継続できるイベントとして実施していきたいと思います。

(2) 事業名 視察研修事業（津山宝発掘委員会）

事業費	75,300 円
-----	----------

事業内容	◆ 津山宝発掘委員と津山地域振興会役員との合同研修会として集落支援員含む 12 名が参加。 令和 7 年 11 月 21 日（金） 11 時～16 時 30 分 気仙沼市にある「小原木公民館」（旧小原木中学校）と「大島公民館」（旧大島中学校）の 2 ヶ所を見学。どちらも 1 階部分が公民館機能、2 階部分をサテライトオフィスとして企業や団体・個人が入居し廃校が活用されている。
事業成果	・生徒数減少による学校の統廃合が増えている中、津山町も例に漏れず旧横山小学校が使われず廃校となっている現実がある。 ・廃校活用している先進地視察をすることにより、今後の公民館のあり方・共存のあり方など様々な方向性を探るのに大変参考になる視察研修になった。

(3) 事業名 運動会事業

事業費	464,067 円
事業内容	◆ 第 21 回津山地区運動会 雨天のため中止
事業成果	

(4) 事業名 花いっぱい運動事業

事業費	419,506 円
事業内容	◆ 配布日：令和 7 年 6 月 6 日（金） 8 時 30 分～11 時 配布場所：津山林業総合センター、津山公民館講堂・陶芸館の 2 ヶ所 配布数：柳津 1,970 株、横山 1,480 株 23 行政区に配布
事業成果	・今年度も希望行政区へ花苗を配布し、住民の方に植え付けをしていただきました。花苗の種類・色違いを揃えましたが、野生動物の食害がある地域では希望通り種類を限定して配布しました。住民の方の水やりが難しいという行政区があり、「花いっぱい運動」を辞退する地域がありました。

(5) 事業名 自治組織等活動奨励事業

事業費	317,980 円
事業内容	◆ 地域活性化事業のための行政区や団体への活動補助交付金 地域づくりに基づき、継続的且新たな地域活性化に向けた事業と課題解決の取組に対し、応援交付金の支援を行う（地域活性化事業・自主防災活動・健康推進事業など） 5 行政区・1 コミュニティ組織へ交付
事業成果	・横山 11 区町内会（地域活性化事業）参加人数 6 名 ・昨年からの継続でクリスマス時期前後に LED イルミネーションやキャラクターを設置。憩いと癒しの場を作り地域の振興を図る。（SNS 発信により地区以外の方たちも見学に訪れた。キャラクターは通年設置。）

	・横山 8 区町内会（地域活性化事業）参加人数 8 名 地域行事を実施していく中で幅広い年齢層も参加するため、長時間滞在できるよう備品整備等で周辺環境を整えていく ・入沢部落会（地域活性化事業）作業人数 3 名 昨年に続き農村公園の整備、芝の貼り付け等の環境整備を実施。地域の憩いの場として維持管理をした。 ・横山 6 区部落会（防災備品拠点整備と自主防災対策事業）参加人数 15 名 防災備品拠点整備・発電機使用方法・テント設営方法・地域のハザードマップ勉強会など地域住民が積極的に参加。住民との交流が得られ地域の活性化にもつながった。 ・元町二区（地域活性化事業）参加人数 73 名 地区の夏まつり活性化等、地域行事の会場設営をスムーズに進めるための備品の整備。準備作業の時間短縮により他の作業も同時に進めることができた。 ・横山地区コミュニティ推進協議会（横山地区コミュニティ推進事業） 横山地区住民が参加するコミュニティづくり、明るくふれあう豊かな地域社会を目的に各種事業を展開した。 春祭り演芸大会（4月27・28日）・横山地区盆踊り大会（8月14日）など
--	---

(6) 事業名 観光 PR 事業

事業費	179,520 円
事業内容	◆ 観光パンフレット増刷（やさしい風の吹くまち）3,000 部 ◆ 津山町町めぐりマップ増刷 1,500 部
事業成果	・津山町の観光 PR パンフレットを登米市内にある「道の駅」に設置依頼し配布、他の観光施設・宿泊施設にも配布。 町内外から訪れる人へ津山町をアピールする。

(7) 事業名 生きがいくくり交流事業

事業費	96,880 円
事業内容	◆ 「第3次津山地区地域づくり計画」全戸配布用パンフレット作成 ◆ 初心者向けスマホ教室（2回）、5/30・9/25 それぞれ参加人数5名 ◆ 中級者向け LINE 講座（1回）、7/25 参加人数5名 ◆ クリスマスシーズンに向け、図書室内にある「イナイリュウ」をライトアップ、電飾で飾り付け（12月のみ）
事業成果	・昨年開催した「スマホ教室」の需要があると判断し、年4回の定期開催を実施。「初心者向けスマホ教室」2回。「中級者向け LINE 講座」を1回。近年頻繁に起きている自然災害を危惧し「Yahoo 防災アプリ講座」を計画。残念ながら「Yahoo 防災アプリ講座」の受講希望者は居ませんでした。他のスマホ教室には、新規の方以外にリピーターの方の参加も多く、勉強への意欲を感じた。 ・「第3次津山地区地域づくり計画」概要版を全戸配布することで、5か年計画の地域づくり計画を公民館だけの事業ではなく、津山町住民の方にも意識していただいた。

(8) 事業名 組織運営費

事業費	117,747 円
事業内容	◆ 事務作業・地域活動における経費・消耗品等の購入 ◆ ハラスメント外部相談窓口業務委託負担金支払い
事業成果	・報告書作成の事務作業や事業計画を円滑に行うことができた。